

医学部の使命（本学の教育理念）

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療・保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

医学部の使命（医学部の教育目標）

医学部教育においては、幅広い教養、豊かな思考力と創造性を涵養し、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人材、地域医療及び健康福祉の向上に寄与するとともに、国際的にも活躍できる人材を育成することを目標とする。

和歌山県立医科大学医学部の教育課程（カリキュラム）ポリシー

1. 教育課程編成

ディプロマ・ポリシーに掲げる知識と能力を修得するために、教養、基礎医学、臨床医学に関する体系的で組織的な教育を提供します。知識に偏重した旧来型の教育ではなく、学修成果基盤型教育を行います。

2. 教育内容・方法

- 1) 1年次は教養教育が中心となります。医学への準備教育や自然科学、人文・社会科学および外国語に関する知識、医師としての倫理を学びます。また、入学後早い時期に医療の現場を体験する早期臨床体験実習や、3学部合同で患者の生の声を聞き、学生同士で意見交換し、その内容を発表するケアマインド教育などで、能動的学習やコミュニケーション能力の獲得を目指します。
- 2) 1年次後半から臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学びます。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。
- 3) 3年次に行う基礎配属では、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学講座（社会医学系講座を含む）・先端医学研究所研究部・共同利用施設・人体病理学講座の研究室で実際の研究に触れます。大学院準備課程（M.D.-Ph.D コース）で自身の研究を継続することもできます。
- 4) 3年次後半から4年次終了まで学ぶ臨床医学では基礎医学・社会医学との連携を図り、臓器別に疾患の概念、診察、検査、診断、治療の基本を系統的講義で学びます。少人数グループにわかれ、症例シナリオを用いる問題基盤型学習も含まれます。
- 5) 共用試験に合格した学生は臨床実習生（医学）として5年次から臨床実習を行います。臨床実習では、すべての科を網羅的に実習するとともに長期間の診療参加型実習を学内外

で行い、臨床推論能力を含めた実践的な臨床能力の獲得を目指します。

- 6) 地域実習および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる資質を習得する教育を行います。

3. 学修成果の評価方法

シラバスに記載された学修目標について、授業中の小テストや発表、レポート、筆記試験、実技試験などの多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価します。4年次、6年次に行われる医療系大学間共用試験実施評価機構による CBT (Computer Based Testing)、Pre-CC OSCE (Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination)、Post-CC OSCE などの試験も評価に含めます。

和歌山県立医科大学医学部の学位授与 (ディプロマ) ポリシー

和歌山県立医科大学医学部は以下の能力を獲得した者に学士(医学)の学位を授与します。

1. 命を扱う職業である医師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの
2. 総合的、専門的医学知識とともに医学研究や臨床研修を行うに足る技能を有しているもの
3. 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの
4. 国際的視野を有し、地域での医療ができるもの

和歌山県立医科大学医学部学生の行動規範

1. 法令の遵守

私たちは、和歌山県立医科大学の構成員として活動するにあたり、本学の教育理念を深く理解し、法令、学内諸規則及び社会規範を遵守します。

2. 倫理の保持

私たちは、勉学に励み、自ら研鑽して、豊かな人間性と高邁な倫理観、幅広い教養を身につけるとともに、高度で専門的な知識・技能を修得します。

3. 人権と多様性の尊重

私たちは、多様な個性を認めるとともに、一人ひとりの人権と人格を尊重し、あらゆる差別、偏見及びハラスメントにつながる言動は行いません。

4. 個人情報保護

私たちは、守秘義務と個人情報保護を徹底し、SNS等インターネットを含めた情報発信や管理については細心の注意を払います。

5. 地域社会貢献・国際社会貢献

私たちは、これまで本学が創出・継承・蓄積してきた知に対して敬意を払い、本学における、学習及び研究活動が社会からの付託を受けていることを理解し、課外活動などを通して、地域社会貢献並びに国際社会貢献に努力します。